

抄紙金之在清穆珍重之奉

存候備承之候得之旨是也近

来日平漢創史之案より此研究

公之由幸い当校出版書中近松

の評釋をせしむる案并に撰註を

題 しるしのありしは作此巻考之一助

はよき各部進呈したるは是納ると

いふ幸甚と奉存

子之部員

子福日名子

高田甲子苗

水泉八重様

書籍の外封小包郵便に差支るは承知し候



府之書多廢印  
西之保二云云  
水泉八重様



六月十日

八

王紹周字子

高田子也

26  
9230  
13

